

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から当社の事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第182期(平成11年4月1日～平成12年3月31日)の決算の概要を取りまとめましたので、事業の概況とあわせ、ご報告申し上げます。

まず、当期の決算の概要につきましては、営業努力による新規需要開拓や全般的に気温が低めに推移したことなどにより、ガス販売量は前期に比べ増加しました。ガス売上高はガス販売量増による増収がりましたが、平成11年2月に実施したガス料金の引下げや原料費調整制度によるガス料金単価の下方調整の影響もあり、前期に比べて若干減少しました。

一方、費用の面につきましては、原油高によるLNG価格の上昇とガス販売量増に伴うLNG使用量の増加により原材料費は増加しましたが、経営全般にわたる効率化に努めたことなどから全体として前期並みとなりました。

これらにより、経常利益は前期に比べて減少しましたが、税効果会計の適用などにより当期純利益は増加し、245億円となりました。

配当につきましては、従来通り1株につき年間5円とさせていただきます。

なお、当社は、前期に引き続き、財務体質を強化するために、平成12年2月から自己株式の買入れを行い、3,860万株の消却を行いました。

次に、本年度以降の当社の事業活動について申し上げます。当社は、地球上に豊富に存在し、かつクリーンな天然ガスの特性を十分活かし、お客さまのエネルギーニーズにあわせた提案活動による都市ガス需要の開発に努めてまいります。

また、当社の事業活動の基盤である保安の確保とサービスの向上にさらに努力するとともに、すべての事業領域で環境保全や省エネルギーに積極的に貢献してまいります。

今般、一段の競争促進を図るべく、ガス事業法、電気事業法が改正され、エネルギー間の競争は一層厳しくなっております。しかしながら、このような規制緩和の進展は事業拡大の好機でもあります。こうした状況を踏まえ、当社は競争型エネルギー企業として激変していく事業環境の中で勝ち残っていくよう全力を尽くしてまいります。

当社は、昨年10月に大阪ガスグループの長期経営指針「2010年ビジョン」を策定しました。ビジョンの中で、グループ各社共通の経営基本理念を「価値創造の経営」と定め、「お客さま価値」「株主価値」「社会価値」の増大、すなわち「企業価値の最大化」を目指してまいります。また、その第1ステップとして、2000年度から3か年の中期経営計画を策定いたしました。

今後、2010年ビジョンと中期経営計画に基づき、経営改革と経営効率化を推進し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年6月

取締役社長

野村明雄

